

総合ゼミ報告——今年度の実施状況

植野美濤 愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士前期課程（音楽学）

1. はじめに

音楽学研究総合ゼミ（以下、総合ゼミ）は週に一度行われ、音楽学コースに属する学生と教員が集まり、それぞれの研究発表やそれに関する意見交換をする場である。学生と教員が同じ立場で発表し意見を交換することを目的として2006年度に開設された「音楽学コロキウム」が、2008年度に「音楽学研究総合ゼミ」となってカリキュラムに組み込まれた。音楽学コースの学部生は必修の授業である。

総合ゼミでは、音楽学コースの学生や教員の研究発表の他に、外部の研究者や講師のレクチャーも行われる。本年度も、さまざまな分野の専門家によって幅広い内容の講座が開かれた。

以下に、学生の研究発表以外の講座について報告する。

2. 2018年度の総合ゼミにおいて行われた講座

■ 4月19日 東谷護教授（愛知県立芸術大学・音楽学）

「私的ポピュラー音楽研究史」

■ 4月25日 安原雅之教授（愛知県立芸術大学・音楽学）

「病院アウトリーチ」

■ 5月10日 井上さつき教授（愛知県立芸術大学・音楽学）

「尾張音楽史」

■ 5月17日 小林英樹名誉教授（愛知県立芸術大学・油画）

「音楽学部の学生のための美術講座——印象派再考」

- 5月31日 安原雅之教授（愛知県立芸術大学・音楽学）
「日本におけるテルミン」
- 6月7日 井上さつき教授（愛知県立芸術大学・音楽学）
「ヤマハの最初の電子オルガンとその後の発展」
- 6月14日 村田四郎名誉教授（愛知県立芸術大学・フルート）
「村田四郎のここでしか聞けない話 Part8 ——間違いが起こりやすい楽語
& 楽曲の版にまつわる話」
- 6月21日 七條めぐみ氏（愛知県立芸術大学非常勤講師・音楽学）
「大正時代の名古屋におけるドイツ兵俘虜の音楽活動」
- 6月28日 森真弓准教授（愛知県立芸術大学・デザイン）
「音楽学の学生のためのインフォグラフィックス講座」
- 7月5日 スーザン・ナルッキ氏（カリフォルニア大学サンディエゴ校
教授・声楽）
「Lecture on chamber opera」
- 7月12日 マルク・バティエ氏（パリ＝ソルボンヌ大学教授／愛知県
立芸術大学短期外国人客員教授）
「デジタル・ミュージコロジー」
- 10月25日 大戸薫氏（モンペリエ国立歌劇場・管弦楽団）
「内側から見る南仏モンペリエの音楽界」
- 10月25日 村田四郎名誉教授（愛知県立芸術大学・フルート）
「村田四郎のここでしか聞けない話 Part 9」

- 11月8日 安原雅之教授（愛知県立芸術大学・音楽学）
「ロシア紀行報告」

- 11月15日 小林英樹名誉教授（愛知県立芸術大学・油画）
「音楽学部の学生のための美術講座——印象派再考Ⅱ」

- 11月22日 高梨光正准教授（愛知県立芸術大学・芸術学）
「世界は象徴に満ちている——音楽と絵画的シンポジウム」

- 11月29日 井上さつき教授（愛知県立芸術大学・音楽学）
「ドビュッシー、ラヴェルを初演した名フルーティストたち：バレール、ゴーパール、フルーリー」

- 12月6日 東谷護教授（愛知県立芸術大学・音楽学）
「洋楽受容から「ちんどん屋」を考える」

- 12月20日 幅至氏
「アンティーク楽譜コレクターが語る 初版譜の世界」

3. おわりに

上記の講座の他に、データベース講習会が2回行われた。学生による研究発表は、大学院生が3回、学部4年生が2回、3年生が1回行った。

本年度も、多くの方々にご協力いただき、多岐に渡る分野の講座の機会に恵まれた。講演を行っていただいたゲストスピーカーの皆様に感謝を申し上げる。音楽学コース一同、貴重な場である総合ゼミのさらなる発展に努めていきたい。